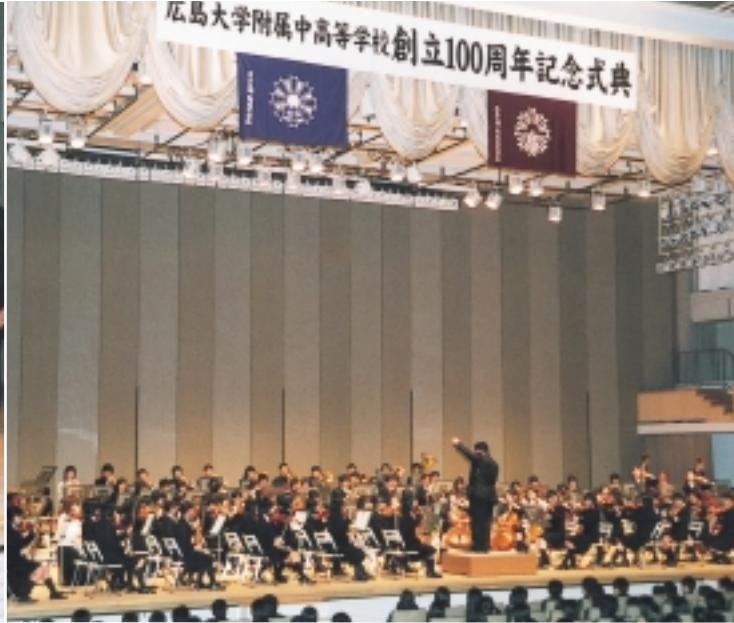


第10号

アカシア 100

2005年7月1日
編集発行 アカシア会
〒734-0005
広島市南区翠1-1-1
広大附高アカシア会館
Tel & Fax 082-253-5581



母校創立百周年

記念事業実行本部会長
井内慶次郎(32回)

(日本視聴覚教育協会会長)



記念式典に出席して

支援委員会委員長東京アカシア
山口信夫(33回)

(日本商工会議所会頭)



「創立百年史」の序文で、曾田梅太郎先生と藤居平一先輩(24回)の事に触れたので、記念式典の前日帰広し、舟入の藤居先輩のお宅に参上、御佛前に百周年のお祝を申し上げた。百年史三巻がちゃんとお供えしてあった。また、その夜、豊川の曾田和之兄(32回・曾田先生のご子息)のお宅に電話。その御佛前にも百年史がお供えしてある由を承った。何かホツトして皆さんの御冥福をお祈りした。また、式典当日の朝、皆実町正門南側緑地の慰霊碑除幕式及び慰霊祭に参列。御令兄と御令弟を原爆で失った同級の横山滋兄が遺族代表で、一緒に除幕をさせていただいた。熱いものがこみ上げて来た。

記念式典と祝賀会、景山校長と石井会長を中心としながら、教職員、生徒一同、アカシア会の皆さん、受付担当から、登壇者、音楽を奏する者、歌う者、すべての者が同じ思いで、極めて自然にスマートに全日程が進行した。これがアカシアなんだなとしみじみ実感させてもらった。参加した者全員は勿論のこと、藤居さんや曾田君の御遺族の方々等も含めて、それぞれのアカシアに寄せせる熱い思いが、百周年の一切の行事を支え、演出したのであるうか。

祝賀会で高らかに校歌を歌い、ぶらりと会場を出て、厚生年金会館のクラス会に。皆肩から力を抜いて、楽しく一刻を過ごし、来日以降、幹事にあまり負担をかけないようにやるうと定めて散会。私の百周年は終わった。

この度の百周年記念式典に出席させていただき、改めて我が母校の伝統の重みと校風の素晴らしさを認識しました。今の自分があるのは、一番多感で大事な青春期を受け入れてくれた附属中学校のお蔭だと心から感じました。

実は式典当日、私が68年前に入学し、5年間学んだ当時の校舎跡(千田町)に立ち寄り、そのまま今の翠町の校舎を訪ねました。「九十周年の植樹祭」以来10年ぶりでした。そこで井内先輩や現役の校長先生方と昔話に花を咲かせました。場所は移りましたが、旧校舎で昼休みにはサッカーを楽しみ、放課後は籠球部でバスケットに打ち込んだ在学当時のことが走馬灯のように脳裏を駆け巡りました。まさに「よく遊び、よく学ぶ」の言葉どおりの日々でした。式典では在校生の皆さんが華を添えてくれましたが、話や歌を聴いているうちに気持ちはいっしょに学生時代に戻ってしまいました。校歌斉唱で我々は「をのこ我ら、楽しや五とせ」と歌い、若い人たちは「わこうと我ら、楽しや三とせ」と歌っていましたが、新旧が渾然一体となっても好ましく思えた瞬間でした。厳かな中にも若々しさを感じさせる伝統にふさわしい式典でした。

百年はひとつの節目です。これからも良き伝統と校風を守り、これから続く後輩たちに伝えていただき、いつまでも私たち卒業生の心の拠り所であって欲しいと切に願っております。

Calbee

天然えびを丸ごと使用

思い出すと、食べたくなるでしょ。



カルビー株式会社

〒115-0044 東京都北区赤羽南1-20-1
カルビーホームページ <http://www.calbee.co.jp>

創立百周年記念事業が

始まりました

実行委員長 大方幸三(46回)



四月十六日、記念すべき母校の創立百周年を祝う式典が、多くのアカシア会員並びに生徒、教職員列席の下、晴れやかに行われました。

感謝・喜び・期待を軸に、アカシアの心を表現する時が始まりました。式典で表現された百年の貴重な歴史、伝えられた豊富な伝統は、集った総ての人の心に改めて母校の誇りを思い出させる場となりました。

並行して開かれた、健康に関するフォーラムも会場いっぱい市民の皆様を迎え、アカシアの感謝の意を伝える場としてその目的を十分に果たしました。

前日十五日の夕刻、瀬戸内をはしる船上に、百周年記念アカシア月例会を設けました。多くの参加者を迎え、仲マサコさん(45回)の美しいシャンソンの歌声を耳に、瀬戸内に沈む夕日の美しさを満喫した場となりました。

ご承知のごとく、今年一年を母校創立百周年を祝う年と位置づけ、これから四回の行事を予定しております。ぜひ皆様の参加をお待ち申し上げております。

ご支援に感謝

校長 景山三平

四月十六日に挙行されました百周年記念式典には、井内慶次郎日本視聴覚教育協会会長、山口信夫日本商工会議所会頭をはじめ政財界、学界などで活躍されている多くのアカシア会員の皆様を含め、約千三百名の御出席を頂きました。

高等学校生徒会長の平田裕美子さんが「良き伝統を受け継ぎ、附属らしさを発揮し、附属の発展に繋げたい」と決意を述べ式典を終了致しました。



式典では、石井泰行会長から寄付金の贈呈をいただき、心より感謝申し上げます。浄財は本校のシンボルである講堂の設備充実に充てたいと思っておりますが、空調設備に関しては、六月二十日竣工予定です。

御礼と報告

母校創立百周年

記念事業実行委員会

母校創立を記念して去る4月15、17日にかけての三日間は幸い好天に恵まれ、充実した内容で事業を終えることができました。

また記念誌「創立百年史」も1750部のほとんどをB・C募金の方々にご購入頂きました。

募金においては、全体においても、各種別においても、大きく目標を上回る事が出来ました。

今後夏から秋にかけて、次のページでご案内する種々の事業を開催します。

最後に募金並びに各種事業へのご参加に実行委員会一同感謝申し上げます。



各行事の参加人数

4月15日(金)

瀬戸内海クルーズ 197人

4月17日(日)

二大世界遺産ツアー 32人

ゴルフ 95人

ジュニアサッカー 320人

サッカーOB対抗戦 125人

4月16日(土)

慰霊祭 100人

記念式典(会員のみのみ) 535人

祝賀会 820人

健康フォーラム 500人

オープンクラス会 100人

募金の状況(6月1日現在)

A 学校寄付金	57,610,611円
B 行事参加費	20,840,000円
C 広告協賛金	41,022,469円

【合計】119,473,080円



—お要りの方は、アカシア会までお問合せください—

百周年グッズ販売(送料込み)

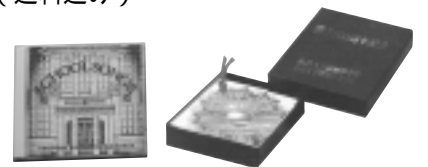
記念文鎮 1200円

スクールソングCD 1100円

H12年収録

ウインドブレーカー 1700円

フリーサイズ



数に限りがありますのでお早めに。

振込先: 01340-9-83136

「アカシア100記念行事」

希望の品と数(色も)を必ず明記のこと。

募金へのご協力

ありがとうございます

4月1日以降追加分(敬称略)

- 6 回林 森蔵(故)
- 23 回山本初之助(故)、吉田武夫
- 39 回宝神 裕 40 回土谷耕介
- 41 回長岡敏夫、横山高嶺
- 43 回藤田義美、山中成基
- 46 回田村米美
- 47 回井上靖彦、横山百合子
- 49 回藤元 薫、土居平治、下西敏彦
- 長尾隆晴
- 52 回田中嘉文、安本典夫、福岡順子
- 55 回佐藤博明
- 56 回嶋田雅晴、林 みどり
- 57 回横地 明
- 58 回桑原啓一、河野照茂、小橋清二、石渡美砂子、二井澄子、須藤とみ系
- 59 回宮地 功、神谷裕子
- 60 回武田 裕、永井 滋、三村政昭
- 61 回尾形完治、小林勲典、山縣和典
- 62 回白石憲子
- 63 回井上博幸、本永貴郎、小川秀子
- 64 回飯本和夫、安積暁美、伊藤喜与子
- 65 回乗越秀夫、66 回木原 稔
- 67 回高橋博美、新居田達雄、一柳みどり、内田志都子
- 68 回町野彰彦、野口園美
- 69 回石田和史、岡本仁志、本永浩子、青備健二郎、高吉哲司
- 70 回山本 薫
- 72 回森川幹夫、工藤利昭、土谷正樹
- 73 回鈴木修身、角岡博子
- 74 回松本 幸、増田知子、八木良子
- 75 回梅田幸子、76 回後藤佳恵
- 77 回野村恭子、高畑好秀
- 78 回中村光泰、80 回高畑年伸
- 81 回宮内善浩、清水明美
- 82 回谷川 稔、谷川美穂
- 85 回増田幸枝、藤本みどり、安川明香
- 86 回乙重康雄、田辺陽子
- 88 回北村貴志
- 90 回中川真由美、武田 学
- 91 回川真田健一、92 回佐伯直美
- 93 回新谷枝里子
- 94 回武田 洋、河下 亮

8月11日
アカシア100
市民教育フォーラム

市民公開行事

「教育実験百年の提言」

「われからの人づくり」
 母校が創立百周年を迎えたということは、教育実験を百年続けてきたということに他なりません。その成果はどのような人材を社会に送り出したかによって評価されるべきですが、体験者が今後の教育に対し何らかの提言をすることも、教育実験の成果と言えるでしょう。

現在各分野で幅広く活躍している同窓生にとって、母校で学んだことが卒業後の人生にどのような影響を与えたのか。また、社会人として、多くの経験の中から、国家繁栄のために望まれる人間像を生み出す教育のあり方について、討論し提言をしていただきます。景山三平校長の基調講演と同窓生が熱く語り合うフォーラムに多数ご参加下さい。

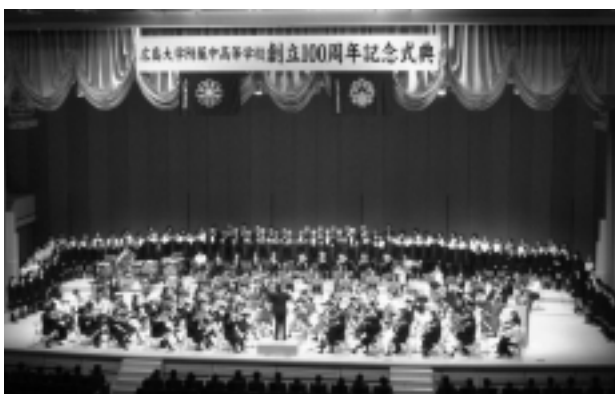
日時：平成17年8月11日(木)
午後二時～四時半
会場：広大附属中・高等学校講堂
基調講演 景山三平先生

入場無料。参加希望者は左記の方法でお申込みください。申込順に受け付けます。(7月末日まで)

アカシア100のホームページより
[\(http://www.acasia100.net/\)](http://www.acasia100.net/)
 往復はがき(2名まで可)
 (1) 参加者の名前
 (2) 住所 (3) 電話番号 (4) 卒業回
 (アカシア会員のみ)
 (返信表面) (1) 郵便番号 (2) 住所
 (3) 代表者の名前
 以上を明記の上、左記まで
 「宛先」 〒734-0005
 広島市南区翠一ー一
 広大附高アカシア会館内
 「アカシア100市民教育フォーラム」係

8月13日
アカシア100
「広島大学附属中・高等学校第29回定期演奏会」

「管弦楽と合唱の夕べ」
 毎年開催され、地元音楽愛好家に広く知られている定期演奏会も、回を重ねて29回目を迎えます。創立百周年記念事業の一環と位置づけられた今回は、大曲をそろえたプログラム



公演は東京藝術大学の自主公演で、広く各界に協賛を呼びかけていたが、わが校も創立百周年にあたり「臨海の歌」を通じて浅からぬ因縁にあることから、井内慶次郎先輩(32回)に会長をお願いしている。広島大学附属中・高等学校創立百周年記念事業実行本部「名で協賛させていただくことになりました。」
 日時：平成17年9月19日(日)
 午後六時半開演
 会場：東京藝術大学「奏楽堂」
 「チケットぴあ」にて入場券販売中

の普及活動の一環として実施されているものです。
 大野氏は小澤征爾氏に次ぐ地位を確立しており、オペラに関する生き字引のような方ですが「ピアノ」と「しゃべくり」の名人でもあり、曲の解説、裏話、果ては演歌のメロディーまで交えて、アリアの名曲を聴かせて貰えます。オペラという大掛かりなものを想像しますが、このコンサートでは大野氏のピアノ伴奏のもと、日本のオペラ界を代表する4人が歌い、オペラやクラシックにあまりなじみのない方も気軽に楽しみたいだけのもものとなっています。

また、大野氏に母校管弦楽班の活躍をお話したところ、喜んで「公開リハーサル(練習指導)の実施に同意していただきました。生徒達のオーケストラが世界的指揮者の指導でどのように変わっていくか、専門家、愛好家ならずとも貴重な体験になると思います。

現在、詳細については調整中ですが、「オペラ・レクチャーコンサート」及び「管弦楽班公開リハーサル」は下記のような要項となりますので、ご参照下さい。

オペラ・レクチャーコンサート
 日時：平成17年10月10日(月)
 午後六時開演
 会場：アステールプラザ大ホール
 出演者：
 解説・伴奏 大野 和士
 ソプラノ 木下美穂子
 ソプラノ 斉藤 紀子
 テノール 馬場 崇
 バリトン 泉 良平
 入場料：無料
 詳細の決定後、月例アカシア会報に掲載、アカシア100ホームページでもお知らせします。お問い合わせは、8月以降、アカシア会事務局
 ☎082-253-5581、又は
 akasia100@fsc.hiroshima-u.ac.jp
 件名「オペラ・レクチャーコンサート問合せ」まで。

管弦楽班公開リハーサル
 日時：平成17年10月10日(月)
 午前十時半から約二時間
 会場：南区民文化センター大ホール
 入場料：無料
 対象：母校管弦楽班班員、母校生徒、保護者、教職員、アカシア会員
 先着順。満員の場合は入場をお断りする場合があります。

コーディネーター
 横山禎徳(51回)
 社会システムデザイナー
 パネラー
 的川泰直(50回)
 宇宙教育センター長
 吉田敦子(52回)
 社会福祉士・東京大学大学院客員研究員
 本田和哉(62回)
 もみじ銀行を経て
 宮島工業高等学校校長
 他1名
 聴講者：450名
 母校生徒(中学3年生)と保護者
 教職員、アカシア会員、一般市民

演奏曲目(順不同)

管弦楽曲
 R・ワーグナー作曲
 「ニュルンベルクのマイスタージンガー」より第1幕への前奏曲
 A・シルヴェストリ作曲
 映画「ヴァン・ヘルシング」より
 P I チャイコフスキー作曲
 交響曲第4番

合唱曲
 R・ロジャース作 北野 実編曲
 「サウンド・オブ・ミュージック」合唱曲集より
 被爆六十周年に捧げる 保富康午作詞 佐藤 眞作曲
 レクイエム「眠れ幼き魂」(合唱班・コールアカシア合同演奏)

管弦楽・合唱 合同演奏
 J・シュトラウス2世作曲
 ワルツ「美しく碧きドナウ」

お知らせ
 百周年記念式典で、初めて実現した「美しく碧きドナウ」の管弦楽と合唱の合同演奏。あの感激を定期演奏会でも再現し、新しい附属の伝統を創造することを目指し、多くのBの参加をお待ちしています。参加希望の方は左記迄ご連絡下さい。広島・関西・東京での練習スケジュールをお知らせします。

コール・アカシア事務局 猪原龍吉
 TEL&FAX 082-9338332
 E-mail PEB00743@nifty.ne.jp

10月10日
アカシア100
大野和士の
レクチャーコンサート

創立百周年記念事業実行委員会では「感謝」をテーマの一つとして事業の実施を考えて来ましたが、このテーマを具体化した事業として、日本を代表する国際的指揮者の大野和士氏の「オペラ・レクチャーコンサート」を広島で開催します。

オペラ・レクチャーコンサートは大野氏がかねてから力を入れている青少年の情操教育・クラシック音楽



大野和士(おおの かずし)
 1960年生まれ。東京芸術大学大学院修了後、ヨーロッパの歌劇場で腕を磨く。
 1987年トスカニーニ国際指揮者コンクール優勝。第一回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、第一回斎藤秀雄メモリアル基金賞ほか受賞。
 2002年8月、ベルギー王立歌劇場(モネ劇場)音楽監督に就任。
 今回は、王立歌劇場管弦楽団を率いて9月23日愛知万博フィナーレ公演を皮切りに、国内5ヶ所での凱旋公演を予定。

撮影者：JOHAN JACOBS

創立百周年記念行事の報告

4月15日から3日間かけて行われた記念行事の数々。天候にも恵まれ、いずれも成功裏に終了しました。まだ8月以降の市民公開行事を残してはいますが、感激がさめやらぬ今のうちに、各行事について報告します。

4月15日 瀬戸内海クルーズ

瀬戸内海汽船「銀河」

夕暮れの宇品港から総勢197名が「銀河」に乗り込み、百周年記念行事の前夜祭はスタートしました。宮島沖で船は5分間停泊、ライトアップされた大鳥居の美しかったこと。もう一つのお楽しみは仲マサコさん(45回)の「シャンソンの夕べ」。船上で聴くシャンソン。優雅で素敵なお楽しみでした。



4月16日 原爆死没者・戦没者慰霊碑除幕式 および慰霊祭

広大附属中・高等学校内

創立百周年記念式典に先立ち、広島大学附属中・高等学校内正門南側緑地では、原爆死没者・戦没者慰霊碑の除幕式および慰霊祭が開催されました。出席者はご遺族、教職員、生徒など約100名。

在校生の岡村翔太君が、「先人の歴史から得た教訓をもとに本当に大切なものを慎重に見極めながら、これ

以上、戦争の犠牲者が出ないように努力していきたい」と力強く誓いました。



4月16日 創立百周年記念式典・祝賀会

広島国際会議場

フェニックスホールいっぱいのお客様、元・現教員、アカシア会員の管弦楽班の伴奏で「開校記念日の歌」を歌いながら式典は始まりました。景山三平校長の挨拶、牟田泰三広島大学学長の祝辞、石井泰行アカシア会会長から景山校長への寄付金贈呈、初代主事・長谷川乙彦像除幕と感謝状贈呈、「創立百年史」の披露と感謝状贈呈と式は厳かに進行していきま

した。クライマックスは、在校生による「過去から未来へ」と題したパネルディスカッション。生徒がしっかりと考えを持っていることに、OBたちは、感心することしきりでした。舞台からあふれんばかりの合唱団員が歌う「美しく碧きドナウ」は場内に美しく響き渡りました。



記念式典に続いて開催された祝賀会は参加希望者が多く、二つの会場に分けるといふ盛大なものとなりました。「オーブニング祝いの舞」では花柳寿魁さん(54回)が見事な舞を披露。石井泰行アカシア会会長の挨拶、鏡割り、乾杯と続いた後は、賑やかに歓談。最後に全員で校歌を斉唱してお開きとなりました。

4月16日 アカシア100 市民健康フォーラム

広島国際会議場

当初、創立百周年記念事業実行委員長だった故・島健氏(49回・2004年3月死去)の「アカシアを百年間温かく育ててくださった市民の皆さまに、お返しをしたい」という発案がきっかけで、市民健康フォーラムが開催されました。

会場は約50名の聴講者で埋め尽くされ、司会は大下容子さん(79回・テレビ朝日)が務めました。



テーマは「脳・心疾患」の原因・治療・予防。基調講演をされたのは

島氏の長年のご友人である山口武典日本脳卒中協会会長。続くシンポジウムはアカシア会員によるもので、座長は藤村欣吾氏(50回・広島大学大学院)と栗栖薫氏(64回・広島大学大学院)に、講演とディスカッションは山根冠児氏(59回・中国労災病院)、光藤和明氏(57回・倉敷中央病院)、伊藤千賀子氏(48回・広島原爆障害対策協議会健康管理・増進

センター)にお願しました。いずれもわかりやすく説得力もあり、島氏の遺志を少しでも実現できたのではと、実行委員一同、感無量でした。

4月16日 オープンクラス会

メルパルク広島

35回生から70回生まで、総勢100人が集合しました。会場で同期会をした35回・51回・54回生はもちろん、同期と誘い合って集ったみんな飲み食い喋り、熱気に溢れた会場いっ



ぱい笑顔、笑顔、笑顔、三三同期会の輪が広がりました。最後は大きな輪になって校歌を歌い、干ルを切つて会は終了しました。

4月17日 アカシア100 記念ゴルフ大会

鷹の巣ゴルフクラブ

当日は百周年を祝うかのような快晴でした。29回の平城弘通氏から87回の青木芳允氏まで参加者95名。また、プレーはせず裏方としてお世話に専念された会員も多数おられ、まさにアカシア会全体で盛り上がったゴルフコンペとなりました。

競技はWペリア方式で行われ、優勝は田妻進氏(64回)。44回以前の方々で争われたグランドシニアは原田洋氏(44回)、レディースは河村三枝さん(66回)、卒業回数別の団体

戦は63回チームが優勝されました。ちなみにベストグロスは、ただ一人70台で回られた野村尊教氏(50回)さすがです。すね!



4月17日 二大世界遺産ツアー

原爆ドームと宮島

世界遺産が広島に二つあることは知っていましたが、航路で繋がっているとは…。このすばらしいツアーに参加したのは32名。原爆ドーム前で記念撮影をした後、宮島へ向けて出航です。

宮島ではボランティアガイドさんに付いていただいていたの観光。説明付きで見える宮島は一味違ってみえました。圧巻だったのは、百周年記念舞楽の奉納。アカシア会のために舞っていただいたのです。貴重な体験でした。



4月17日 アカシア100 サッカーフェスタ

広島ビッグアーチ

「地域貢献」をコンセプトに、小学生を対象にしたサッカースクールと、「三校(国泰寺・修道・附属)対抗サッカーOB戦」を開催しました。開会前にU-20日本代表のサンフレッチェ広島・吉弘充志選手と記念撮影。小城得達氏(51回)の開会挨拶後、サンフレッチェエコーチ陣の指導の下で、8人制ゲームを行いました。



対抗戦は国泰寺25名、修道25名、アカシア55名の往年のプレーヤーが集まり、総当たりで20分ゲームを2本ずつ行いました。アカシアは木原洋二氏(51回)と西原清晃氏(67回)の得点により、修道との二校優勝。世代を超え、楽しく交流することができました。